

# クエスチョネア

【第6回会合（平成18年3月13日（月）13時～15時）】

## I 日本放送協会

（事業範囲）

- 1 公共放送としてのNHKの保有するメディア数は多すぎる(国内放送だけで8波)との指摘があるが、見解如何。
- 2 NHKには、世界に誇る映像資産の蓄積があるが、それが一般に十分開放、活用されていないとの指摘がある。映像コンテンツの流通について、著作権の在り方など現状の問題点と、解決すべき点に係る見解如何。

（ガバナンス）

- 3 不祥事の再発防止の観点等からNHKのガバナンスが不十分であるとの指摘がある。また、NHKの関連会社の利益水準、NHKからの天下り等の問題が指摘されている。関連会社を含めて、NHKグループ全体のガバナンス強化のためどのように取り組むのか。

（受信料制度）

- 4 諸外国の公共放送では、受信料の不払い等に対し強制徴収制度や罰則制度を設けている例が多い。橋本会長は以前罰則について「慎重に考えるべき」と発言されているが、強制徴収制度、罰則制度を導入することに関する見解如何。

（技術開発）

- 5 NHKの放送技術研究所は、これまで放送技術の進展に貢献してきたと思うが、今後メディアが融合する中、技研だけが放送分野の技術開発を担う時代は終わったとの指摘がある。このため、技研の基礎研究部門をNHKの組織から切り離すべきであるとの意見があるが、見解如何。

（情報発信）

- 6 国際社会への情報発信力の強化という観点から、国際放送を充実すべきであるとの指摘があるが、新しい国際放送の在り方についてどう考えるか、具体的スキームについて見解如何。さらに、国際放送の一部を広告収入で実施するという意見もあるが、見解如何。

## Ⅱ (社) 日本ケーブルテレビ連盟

(CATVの公共性等)

- 1 ケーブルテレビ放送が担うべき公共性の具体的内容やその規律の在り方について見解如何。
- 2 日本においては、アメリカと比べて有料放送のシェアが低いが、ビデオオンデマンドなどのコンテンツ配信サービスなども含め、今後の有料コンテンツ配信市場の展望について見解如何。(映像コンテンツの流通に関し、著作権の在り方など現状の問題点と、解決すべき点についての見解を含む。)

(放送のデジタル化等)

- 3 地上デジタル放送の補完措置のひとつとして、光ファイバでのIPマルチキャスト配信という手段が検討されているが、そのことについて見解如何。またケーブルテレビ事業者としては、IPマルチキャスト放送にどのように対処する考えか。MSO、地方独立系、第3セクターでIPマルチキャスト放送の経済的影響に対して個別課題があればお聞きしたい。
- 4 アナログ放送において行われていた、ケーブルテレビ事業者による区域外再送信について、地上放送事業者が地上放送のデジタル化を契機として、整理したいとの意向があると聞かすが、ケーブルテレビ事業者としての見解如何。

(通信放送融合)

- 5 放送、電話、インターネット接続サービスのトリプルプレーサービスについて、競合する通信事業者等が現れているが、公正競争条件の整備等について見解如何。また、通信事業者(NTTを含む)による放送コンテンツの配信事業への進出について見解如何。
- 6 Gy aOなどの、非放送映像コンテンツ配信サービスについて見解如何。

### Ⅲ 株式会社スカイパーフェクト・コミュニケーションズ

(衛星放送の公共性等)

- 1 地上放送キー局、地方局、BS局、CS局と規模、性格を異にする放送局が多数あるが、現在はコンテンツ規律、番組審議会設置など同じ規律がかかっている。このままでよいと考えるか、見解如何。
- 2 我が国の有料・多チャンネルのCS放送は、約400万契約に止まり、英米と比べてあまり普及していないと言われるが、有料放送・多チャンネル放送の評価と今後の衛星放送の在り方について、見解如何。

(競争の在り方)

- 3 衛星放送のプラットフォームを一社が独占することは競争上問題があるのではないかと意見もあるが、見解如何。また、そのプラットフォーム事業には、放送にかかわる規律がかかっている。この現状について見解如何。

(放送のデジタル化)

- 4 地上デジタル放送の完全移行に向けた課題への対応(条件不利地域の視聴確保、視聴者保護等)に係る衛星放送の役割について見解如何。

(技術開発)

- 5 放送分野においても様々な技術開発が行われているが、CS放送における今後の新技術導入の考えについて見解如何。また、海外での技術、機器の開発の動向をどのように踏まえているのか。

(通信放送融合)

- 6 放送事業者の通信分野への進出について見解如何。
- 7 映像コンテンツの流通について、著作権の在り方など現状の問題点と、解決すべき点に係る見解如何。
- 8 GyaOなどの、非放送の映像コンテンツ配信サービスについて見解如何。

#### IV (社)日本芸能実演家団体協議会

- 1 IPマルチキャストによる放送について、著作権法においても、「放送」としての扱いを行い、簡易な著作権処理が可能となるように措置すべきとの考えがあるが、見解如何。
- 2 放送番組について、インターネット上の活用を含め、積極的にマルチユースを行うべきとの考えがあるが、見解如何。
- 3 多メディア時代において国内外市場におけるコンテンツ流通の活性化に向けた具体的方策について見解如何。